

永小だより

TEL 48-2811

FAX 48-2816

～笑顔と潤いのある学校づくり～

実りの秋 学びの秋

校長 工 藤 嘉 宏

先週10月1日、2日と2日間実施いたしました参観日には、数多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

2学期は、持久走記録会に始まり、百寿大学との交流、町探検、稲刈り体験など、数多くの学習が展開され、子どもたちの学びを支えていただいております。どの活動も、地域の皆様とふれ合いながら、確かな学びへ繋がっていると強く感じています。

昨日は、神居のりんご農家さんをお招きして、3年生の食育の授業を行いました。おいしいりんごを食卓に届けるために、一年掛けてりんごを大切に育てるご苦労とりんごへの愛情を感じる1時間でした。この授業の様子は北海道新聞と読売新聞に後日掲載される予定です。また来週10月18日(土)11:25の「旭川市民ニュース」(STV)でも放送されます。子どもたちの日頃の活動が、保護者・地域・市民の皆様にお伝えできることを、とてもうれしく思います。

今月25日(土)は、いよいよ学芸会本番です。日頃の学習の成果とひたむきに取り組む姿にご期待ください。子どもたちの「実り」をお届けします。



ご協力 ありがとうございます

1学期の終業式、この学校だよりを通じて、登下校時の「校地内の車の乗り入れについて」のお願いをいたしました。具体的には、①やむを得ない事情を除き、登下校時の校地内への車の乗り入れを禁止させていただく ②ピック側の正門前の降車(停車)をお控えいただく この2点についてお願いをさせていただいたところ、正門前の停車、校地内の乗り入れ共にご理解をいただき、2学期は、より安全な登下校をさせていただいております。登下校時に限らず、交通安全につきましては、引き続き全職員で指導してまいります。今後もご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、登校に不安のあるお子さん、また、その他の事情等で校地内への車の乗り入れが必要なお子さんにつきましては、その都度お知らせください。別途対応させていただきます。

通知表について

今年度から、通知表の「学校から家庭へ」の欄は、1年に1回となり、一年を通して総合的に伝えることにいたしました。これは、永山地区の近隣校も同様です。お子さんの様子につきましては、学校とご家庭とが共通理解のもと、しっかりと連携しながら子供の成長を支えていくことが重要と考えます。7月と11月の保護者教育相談をより一層充実させ、お子さんの学習面や生活面を確実に伝えることを徹底してまいります。また、平素からもご家庭との連携を大切し、何かあった場合の連絡を丁寧にさせていただきます。引き続き、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

非行防止教室

9月11日(木)、5年生を対象に非行防止教室を実施しました。内容はSNSの危険性についてです。スマホはとても便利なものですが、様々なトラブルに巻き込まれる可能性のあるものです。「不適切な画像をSNSでの送信する」などのトラブルが発覚した場合は



すぐに警察と連携することになります。お子さんと十分に話し合い、ご家庭でしっかりと管理をお願いいたします。

がんばった持久走記録会

持久走記録会に向けて毎日練習に励み頑張ってきた永山っ子たち。本番でも練習の成果を発揮できたと思います。目的は、体力を付けて強い体を作っていくことです。今後も、縄跳びなど様々な運動に取り組んで体力の向上に努めます。



「子供の心を育てる永山中央地区推進委員会」

9月17日（水）、永山小・永山東小・永山中の校長とPTA会長、旭川東警察署、市民委員会の方々などにお集まりいただき、永山中央地区の交通安全や生徒指導について話し合いました。児童センターの方から、小学生の利用の仕方について「お菓子のごみを持ち帰る等、利用の仕方を指導していただきたい」という要望がありました。また警察の方から、「自転車でも一時停止を守ること」、「歩道の縁石を歩かないこと」について子供たちに指導してほしいという願いがありました。学校でも継続して指導してまいります。ご家庭でも、交通安全をはじめとする様々なルール等、お子さんと話し合っていただきたいと思います。

ミシンボランティア ありがとうございます

家庭科のミシンを使う授業において、保護者の皆様にボランティアでお手伝いいただいています。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

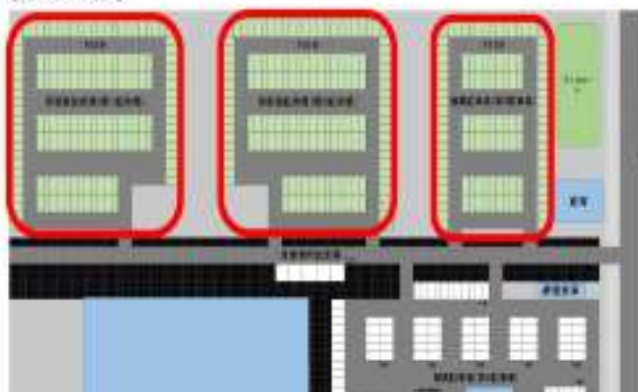


学芸会当日の駐車場に関するお願い

本校では駐車スペースを十分に確保できないため、学芸会当日は、上川合同庁舎の駐車場を借用し対応させていただいております。近隣スーパー及び永山中央公園の駐車場の利用は、利用者様のご迷惑になりますので、絶対におやめください。

今回は、突然の草刈り対応はないということです。赤で囲った箇所を十分に使用できると思いますが、当日の駐車場係等は未定です。保護者の皆様、相互に協力しながら、安全にトラブルなく利用していただくことを願っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【使用許可場所】



10月行事予定

日	曜	学 校 行 事
1	水	参観日（4～6年）交通安全街頭指導 安全点検日
2	木	参観日（1～3年）
3	金	クラブ7（最終）
4	土	
5	日	
6	月	*
7	火	旭川市教育研究大会（臨時休業日）
8	水	校内委員会3
9	木	
10	金	全校集会② 委員会6 全学年くじ実施
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	生活リズムチェックシート期間20日まで
15	水	実行委員会① 諸費振替日
16	木	体育館開放停止25日まで
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	*
21	火	実行委員会②
22	水	児童公開日 生活リズムチェックシート回収
23	木	
24	金	実行委員会③ 前日準備
25	土	学芸会 後片付け
26	日	
27	月	振替休業日 諸費振替予備日
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	





児童・保護者アンケートの結果をお知らせします

忙しい中、回答いただきありがとうございました。

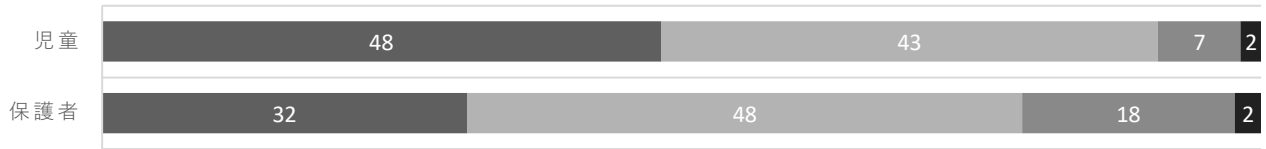
児童と保護者のアンケート結果を並べてまとめます。

☆ 四捨五入して%を出しているため、合計が100にならないことがあります。

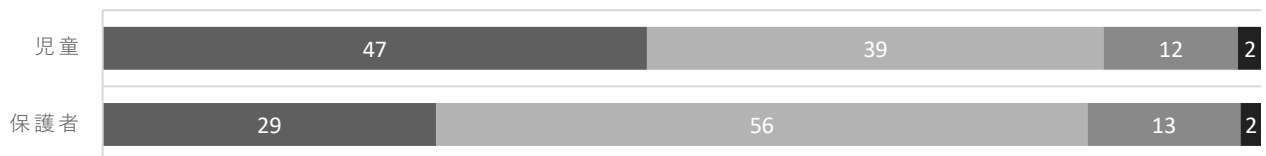
■ A ■ B ■ C ■ D

自分から進んで学習に向かうことができた

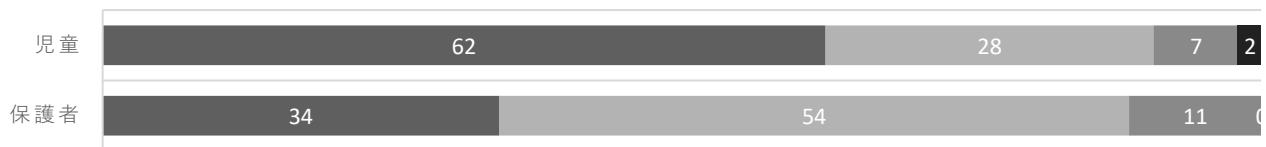
A よく当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない



自分の考えや思いをいろいろな形で表現することができた



礼儀正しく挨拶することができた



友達や他の人を思いやり、協力して行動できた



自他の健康や生命を大切にすることができた



進んで運動することができた



<結果から>

★「自分から進んで学習に向かうことができた」について

- ・課題解決に向けて意欲的に学び向かおうという意識をもっている児童が多いことがわかります。児童の意欲がさらに高まるよう、これからも「わかる」「楽しい」授業を目指します。また、学力テスト等の結果分析を通して、児童の傾向や弱点を明確にして、授業改善を図ります。
- ・家庭学習のよい取組を学級に掲示して児童に手本を示したり、学級通信や保護者教育相談を通して発信したりするなど、自主的に学びに向かえるよう工夫をしていきます。

★「自分の考えや思いをいろいろな形で表現することができた」

- ・自分の考えや思いを言葉や文章、作品に表すなど、表現する機会を大切にして取り組んできた児童が多いことがわかります。継続して指導していくと同時に、表現したものを互いに伝え合い、学びをさらに深めていけるよう指導の充実を図ります。
- ・思いや考えを表現し伝え合う場面を、参観日や行事等で保護者の皆様に発信して、お子さんの学びの成果が伝えられるよう工夫していきます。

★「礼儀正しく挨拶することができた」

- ・児童、保護者共に挨拶の意識の高まりが実感できる数値となりました。これからも児童会活動に挨拶の取組を取り入れたり、教職員が手本となるような姿を見せたりするなど、気持ちの伝わる挨拶の励行に向けて粘り強く取り組んでいきます。

★「友達や他の人を思いやり、協力して行動できた」

- ・学校生活の様々な場面において、友達と協力したり、助け合ったりするなど、子どもたちは他者意識をもって行動できるようになってきました。今後も、参観日や行事等で、お子さんが力を合わせて目標に向かって進んでいく姿をお見せできるよう取り組んでいきます。
- ・相手がどんな気持ちになるのかをよく考えない言動や行動、公園や周辺施設において、他の利用者の方への配慮が足りない行動が見られます。道徳の授業を軸として、他者意識の高まりを目指し、粘り強く取り組んでいきます。

★「自他の健康や生命を大切にすることができた」

- ・肯定的評価（A+B）が、児童、保護者共に90%を超えていることから、児童は、命を大切にしようとする意識して生活していることが分かります。引き続き、道徳の学習や交通安全、防犯に関わる指導、感染症対策に関わる指導等を通して生命を大切にすることを育んでいけたらと思います。

★「進んで運動することができた」

- ・体育の学習や運動会の取組を中心として、積極的に運動しようとする意識が育っています。また、休み時間も体を動かして遊ぶ児童の姿が多く見られます。
- ・体力テストの結果を分析して、児童の傾向を明確にして、体力作りの視点から授業改善を図ります。また、ご家庭での体力作りのきっかけとなるように、その取組の様子を学年・学級通信での発信するなど、工夫していきます。